

# DCX CONNECTOR

ブースター・TREC専用

この度は弊社製品<DCXコネクター>をお買い上げ頂き、まことにありがとうございます。本製品はブースターをワンタッチ装着する為の専用カブラーです。本製品を安全にご使用して頂く為に、装着ならびご使用の前に必ず本説明書を読んで、内容を十分に理解のうえ取り付け作業をおこなって下さい。

**お願い！** 本製品は性能向上他の理由により、頻繁に取り扱い説明書の変更をおこなっております。お手元の取り扱い説明書のVol番号が最新でない場合はご面倒でも当社ホームページ上の取り扱い説明書を参考に取り付け、調整をおこなって下さい。

## ⚠️ 警告 死傷につながる恐れがある事故を未然に防ぐ為の事項を示してあります。

- 運転者は、走行中に本製品を操作しないで下さい。運転操作の妨げになり、事故の原因となってしまいます。
- 本体は運転の妨げにならない場所へ固定して下さい。

## ⚠️ 注意 負傷または、車両や商品の損傷を未然に防ぐ為の事項を示してあります。

- 取り付け作業はエンジンを停止させ、専用設備をもった安全な場所でおこなって下さい。必ず専門の業者に依頼して下さい。
- 本製品およびハーネスを高温部もしくは水のかかる場所に設置することは絶対にさせて下さい。また製品を落としたり、衝撃を与えたりすると故障の原因になります。
- 製品を分解もしくは改造して使用した場合、当社では一切責任を負うことが出来ません。

## 注意！アクセルセンサーはエンジンルーム内にあります。

### 【取り付け方法】

#### <取り付け作業の前に>

- 取り付け作業には配線の接続の為にビニールテープ等が必要です。
- ハーネス類は運転の障害にならぬようにまとめて本体を固定して下さい。

#### ⚠️ 注意！ ●ハーネス類を車両ハーネスと一緒に束ねることは避けて下さい。ノイズ等による機器誤作動の危険があります。また運転の障害にならぬようまとめて下さい

- 取り付け作業はキースイッチを抜いてから数分間はおこなわないで下さい。(完全に電源がOFFになるまで)
  - キースイッチを抜いても数分間電源がOFFにならない車両がある為(ホンダ車、輸入車は時間がかかります)
  - 電源がOFFにならない状態で作業をおこなった場合は車両ECUが『エラー認識』してしまうことがあります。
- 取り付け作業はバッテリーをはずさずにおこなって下さい→バッテリーをはずした場合は(アイドリング学習)が必要な場合があります。
- 電子スロットル制御に関わる部分です。接続位置、接触には慎重に作業をおこなって下さい。
- 接触不良等がある場合、正常にエンジンが吹けあがらない、エンジンチェック点灯等の状況が出てしまいます。この場合専用の機器しかエンジンチェックの点灯は消せないことがあります。十分注意して作業をおこなって下さい。この場合専用の機器しかエンジンチェックの点灯は消せないことがあります。十分注意して作業をおこなって下さい。

#### <アクセルセンサーへの取り付け方法>

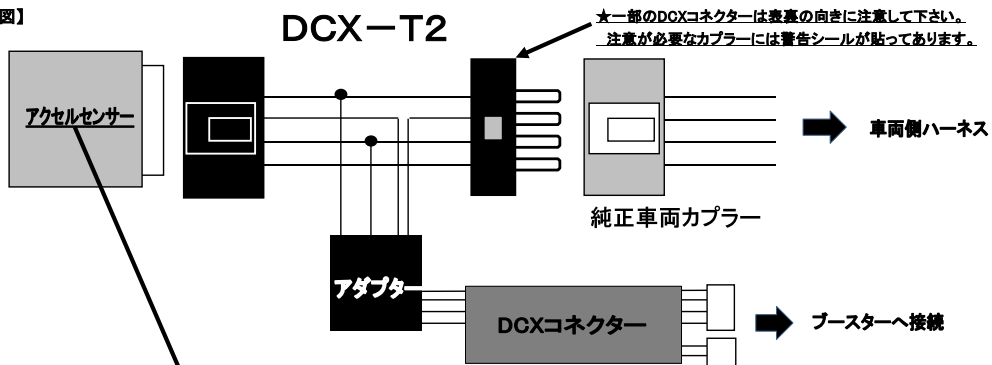
- ①エンジンルーム内のアクセルセンサーを確認して下さい。

- アクセルワイヤーの先に付いているセンサーです。

#### ⚠️ 注意！

- 片側がゴムのカブラーになっているカブラーは表裏の向きがあります。(写真①、②)
- 黄色シールが貼ってある部分と車両側のロック部分を合わせて装着して下さい。
- ③ゴム製カブラーは、装着後必ずテーピングにて固定して下さい。(写真③)

#### 【接続図】



SXE10アルテツアの場合



JZX110の場合



<DCX-T2のオス側と車両カプラーの接続方法と抜け防止と防水処理>

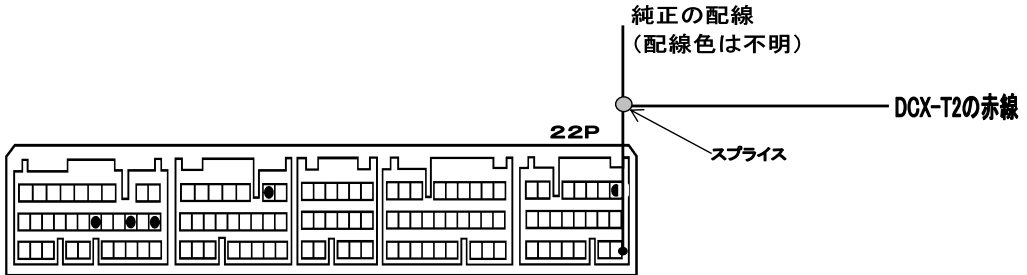


<12v電源の取り出し方>

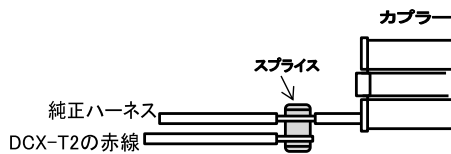
- ①エンジンルーム内のECU-BOXのフタを開け、ECUを確認して下さい。  
●エンジンルーム左前の黒いBOXです。
- ②DCX-T2の赤線を下記の位置の配線へ接続して下さい。(IG-ONで12v)  
●22Pカプラー右下位置の配線へ、スプライスにより接続
- ③電動ファン、補機類に干渉しないように配線をまとめて下さい。



**注意!** ●配線の接触不良があると、エンジンチェックが点灯し、エンジンが吹け上がらなくなり  
作業は慎重におこなって下さい。



※配線側から見た図です



参考/スプライスの使用方法
* 配線の適当な場所の被服を5mm程度むきます。 * 赤色の配線の先を10mm程度被服をむき、車両配線へ巻きつけます。 * スプリスを接合部にあて、圧着ペンチでかします。 * ビニールテープにて接合部を絶縁します。

<トラブルチェック>

※DCX-T2を装着して下記の症状がでる場合は、アダプターの調整をおこなって下さい。

- 症状** ●アクセルを全開域まで踏み込んだ時のみ吹け上がらない、エンジンチェック点灯
- 対策**
- ①ハーネスに装着されているアダプターのケースのネジを2本はずし、フタを開けて下さい。
  - ②基板上にボリュームが装着してあります。(写真参照)
  - ③細めのドライバーを用意し、ボリュームを時計と反対方向に約1目盛回して下さい。  
注意! 回し過ぎると誤作動してしまいます。作業は慎重におこなって下さい。
  - ④症状が改善されているか、確認して下さい。改善されない場合は弊社サービス課までご連絡ください。

